

# そよ風

第8号

今治市立立花中学校

立冬を過ぎて朝晩の冷え込みが厳しくなってきましたが、先日、文化祭が行われ、体育館には、各クラスの素晴らしい合唱が響き渡りました。どのクラスも真剣に取り組む姿が大変素晴らしかったと思います。また、文化祭の中では、各学年の総合の発表や人権作品の発表、吹奏楽部の演奏や有志発表などが行われました。どの発表も工夫をこらしたもので、大変、見応えのある文化祭でした。

そこで今回は、文化祭で発表された人権作品をもう一度紹介したいと思います。一人ひとりが人権について考えるきっかけとなればと思います。

**大切な笑顔の花を**

**いっぱい咲かせよう**

**世の中が幸せになる 第一歩**



1年 門田 舞音

**気づいてる？**

**みんなに見せる 笑顔の裏に**

**悔しさと悲しみがあることを**



2年 井原 乃愛

**違うことって悪いこと？**

**自分の心に 嘘ついてまで**

**人と同じにしていいたい？**



3年 石丸 稀々香



## ～ みんな一緒 ～

2年 檜垣 愛結

私には最高の友達があります。小学校一年の頃からの友達です。「ちーちゃん」と呼んでいます。いつもみんなと勉強し、みんなでお昼ご飯を食べ、昼休みもみんなで遊んでいました。ちーちゃんは音楽が大好きです。みんなが歌っていると、体を動かして声を出します。楽器で演奏しているとリズムに乗ります。一緒に運動会を楽しんだり、遠足に行ってお弁当を一緒に食べたりした時もありました。昼休みもみんなが縄跳びをしているのを楽しそうに見たり、一緒に鬼ごっこしたりして、心の底から笑っている姿を見ると、私まで幸せな気持ちになります。友達とみんなで活動しているときが一番楽しそうだと感じました。

そんなちーちゃんですが、一年生の頃は車いすで朝の会に参加していました。いろんな練習を積んで、パイプ椅子に座れるまでになり、ついにはみんなと一緒に体操座りができるようになりました。食べることも大好きで一年生の頃は先生に食べさせてもらっていたのに、五・六年生になると自分で食べられるようになりました。授業中、勉強をしていると、歩く練習をしている声が聞こえてきます。「あ、今日もちーちゃん頑張っているなあ。」という気持ちでした。一緒に座れるようになったこと、「いただきます」ができるようになったこと、歩くのが上手になったこと、努力しているちーちゃんの姿を見ると、できないことなんてないんだと感じました。数えきれないほどのたくさんの思い出を作り、一緒に成長していることがうれしかったです。六年生ではみんな一緒に卒業証書をもらい、みんなと一緒に卒業しました。この友情は、一生私たちをつないでいてくれます。

私は、ちーちゃんと出会わなければこのような気持ちになれなかったと考えると、本当に出会えてよかったです。ちーちゃんの、自分でできることを全力でする姿はとても輝いていました。私は、そんなちーちゃんの姿から、今までたくさんのことを学ぶことができました。「みんな一緒」ということを実感させてくれたのは、「ちーちゃん」というかけがえのない友達がいたからだと思っています。運動会の時、一生懸命歩く練習をしている姿を知っている私たちは、ちーちゃんの近くに行き応援しました。あの時の気持ちは今でも私の心を熱くしてくれます。ちーちゃんは、みんなから愛されています。頑張っていると応援したくなるし、できないことなんてない、頑張ったら何でもできるようになることを教えてくれたのは、ちーちゃんです。

私もできないことをすぐにあきらめず、努力するようになりました。勉強がわからないとき、部活動でなかなかシュートが決まらないとき、ちーちゃんの姿を思い出すたびに頑張る気持ちになれました。学校から帰ったら走ったり、勉強したり、真剣に取り組む自分がいます。小学校の頃は深く考えたりすることはありませんでしたが、少し成長した今はちーちゃんの存在の大切さに気付いてきました。中学生になると教室も離れて、会うことも少なくなりましたが、見かけると話しかけたり、ハイタッチをしたりしています。しかし、ちーちゃんは転校しました。きっとちーちゃんは今も、頑張り屋のちーちゃんだと思います。私もちーちゃんに負けないよう、頑張り続けていこうと思います。

一年生から六年生まで、私とちーちゃんはクラスが一緒でした。その中で、差別は一切ありませんでした。しかし、テレビなどでは、障がいのある人への差別を見かけることがあります。差別は絶対にあってはなりません。一人一人の個性を尊重し合い、高め合いながら理解することで差別はなくなると思います。私は、ちーちゃんに出会ったことで、努力することの大切さ、前向きな姿勢、幸せな気持ちなど、いろいろなことを学び、いろいろなモノをもらうことができました。人と人との出会いを大切にすることも“人権”という言葉につながっていくのではないだろうか、私は思います。このちーちゃんとの出会いを活かし、私自身のこれからにつなげていこうと思います。

一人一人の性格や顔、得意なこと、苦手なことは違うけれど、みんな人間であり、努力することで結果がついてくることは同じです。差別というものはあってはならないことです。それを改善しようという一人一人の気持ち、意識があれば、きっとなくなると信じています。日々の生活の中で、小さなことから見逃さず、本当に平和な世の中といえるように、私たち子ども、大人、すべての人が、力を合わせて立派な社会を作っていきたいです。

みんなと一緒に……。